



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月15日

上場会社名 株式会社 NEW ART HOLDINGS
 コード番号 7638 URL <http://www.newart-ir.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 白石 幸生

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 神尾 常夫

TEL 03-3567-8098

四半期報告書提出予定日 2022年8月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,382	34.1	606	138.3	792	178.4	496	858.3
2022年3月期第1四半期	4,014	41.4	254		284		51	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 368百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 13百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	31.17	
2022年3月期第1四半期	3.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	20,100	8,819	43.1
2022年3月期	20,906	9,648	45.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 8,670百万円 2022年3月期 9,498百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		75.00	75.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,580	2.9	1,010	10.1	1,010	2.1	600	19.5	37.78
通期	19,300	3.1	3,210	18.9	3,200	8.8	1,630	10.2	102.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	16,626,375 株	2022年3月期	16,626,375 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	683,843 株	2022年3月期	683,082 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	15,943,035 株	2022年3月期1Q	15,751,588 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 今後の見通し	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)は、売上高及び利益ともに前期を大きく上回る数字を作り出すことが出来ました。ジュエリー・アート・オークション事業の業績はコロナの影響と価格高騰や円安の影響もある中、業績は大きく上向きながら好調に推移致しました。また、前第1四半期連結累計期間と比較し各連結子会社の業績改善が見られたことで予想を上回る成績を上げる事が出来ました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は売上高53億82百万円(前年同期比34.1%増)、営業利益6億6百万円(前年同期比138.3%増)、経常利益7億92百万円(前年同期比178.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億96百万円(前年同期比858.3%増)となりました。

「みんなの夢の企業グループ NEW ARTはアートの持てるすべての力であなたを美と健康と幸せに導きます」という企業理念のもと、2022年6月14日に発表させて頂きました通り、2023年3月期の期末配当は業績が安定して好調に推移している為、株主の皆様への感謝の意を表して、感謝特別配当30円を加算した1株につき100円を予定しております。

各セグメントの業績は、次のとおりであります

①ジュエリー・アート・オークション事業

当第1四半期連結累計期間におけるジュエリー・アート・オークション事業の売上高は47億69百万円(前年同期比41.5%増)、セグメント利益8億12百万円(前年同期比39.9%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間においてブライダルジュエリー事業は、仕入高騰や国内外ブランドの競争がある中、国内未出店エリアの宮崎県宮崎市、三重県四日市市、高知県高知市への新規オープンを行い、国内シェアの拡大を図りました。円安とロシア情勢の影響もありダイヤモンドルースや地金が高騰した為、利益率としては前連結累計期間を下回る結果となりました。店頭商品の価格改定時期が遅れた事が要因ではありますが、積極的にシェアの拡大を図った事で前連結累計期間以上の集客アップ・売上アップとなりました。尚、第2四半期以降は大きく利益率の改善を見込んでおります。今後もグループの基幹事業としてさらなる積極的な成長展開と製造部門の強化を行い利益率のアップを創出してまいります。

アート事業においては、新聞広告による集客が奏功し、高額作品の販売が成功して業績に寄与することが出来ました。

オークション事業においては、5月に「近代・現代美術」オークションを行い、7月には「東洋美術」「西洋美術」オークションを終え、9月には特別保税オークションとして天王洲・寺田倉庫にてオークションを開催する予定です。今後も事業の柱となるよう運営してまいります。

②ヘルス&ビューティー事業

当第1四半期連結累計期間におけるヘルス&ビューティー事業の売上高はコロナの影響も残り5億70百万円(前年同期比6.4%減)、セグメント損失99百万円(前期同期はセグメント損失2億39百万円)となりました。

当第1四半期連結累計期間は、エステ事業は抜本的な改革としてコロナの影響を少なくして事業全体の見直しと販管費の削減・ウェブ集客のアップを行いました。同時にヘルス&ビューティー研究所を立ち上げ化粧品や健康食品の開発を進めており本格的な事業展開の為の準備を進めております。今後はエステ事業・化粧品事業・健康食品事業の3本の柱で売上拡大ができるよう商品開発を最短で実現できるよう進めてまいります。

③その他事業

当第1四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は51百万円(前年同期比14.2%増)、セグメント損失19百万円(前年同期はセグメント損失9百万円)となりました。

スポーツ事業においては、「CRAZY」ブランドで展開しているゴルフ用品の販路を広げるため、スポーツ量販店ゼビオ・ヴィクトリアへの卸売を推進致しました。2022年6月末時点で、全国23店舗への展開が済み、今後40店舗まで拡大を予定しております。既存取引先の拡大とゼビオ・ヴィクトリア店の売上が向上することで、更なる売上拡大ができる事業であると考えております。

フィンテック事業においては、ヘルス&ビューティー事業のクレジット事業をすべて(100%)引き受け、確実に利益の出る体制の計画実現のため、業容拡大を目指して人員を増加し、大きく成長できる事業体制の構築を進めております。

(注) 各セグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しています。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末比15億66百万円減少（前連結会計年度末比12.0%減）し、114億44百万円となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産による増加8億47百万円などの一方で、現金及び預金の減少19億76百万円並びに商品及び製品の減少6億54百万円などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比7億61百万円増加（同9.6%増）し、86億56百万円となりました。これは、建物及び構築物（純額）及び土地などの有形固定資産の増加5億70百万円及びのれんの増加1億21百万円などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末比8億5百万円減少（同3.9%減）し、201億円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末比4億76百万円減少（前連結会計年度末比5.6%減）し、79億72百万円となりました。これは、短期借入金の増加2億63百万円などの一方で、支払手形及び買掛金の減少1億58百万円並びに未払法人税等の減少1億43百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比5億円増加（同17.8%増）し、33億9百万円となりました。これは、長期借入金の増加4億37百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比23百万円増加（同0.2%増）し、112億81百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末比8億28百万円減少（前連結会計年度末比8.6%減）し、88億19百万円となりました。これは、剰余金の配当11億95百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は43.1%（前連結会計年度末は45.4%）となりました。

(3) 今後の見通し

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月16日公表の業績予想から変更はありません。なお今後、業績予想について変更がある場合は速やかに公表いたします。

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,322,781	1,346,025
受取手形、売掛金及び契約資産	1,767,720	2,614,812
商品及び製品	7,000,188	6,345,213
仕掛品	45,081	44,414
原材料及び貯蔵品	244,909	243,853
前払費用	157,861	189,405
その他	837,640	962,754
貸倒引当金	△365,492	△302,344
流動資産合計	13,010,691	11,444,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,893,723	2,140,044
機械装置及び運搬具(純額)	4,896	5,421
工具、器具及び備品(純額)	829,223	849,987
土地	2,456,250	2,763,761
リース資産(純額)	273,375	274,722
建設仮勘定	80,539	74,149
有形固定資産合計	5,538,007	6,108,084
無形固定資産		
のれん	168,973	290,608
その他	32,468	40,217
無形固定資産合計	201,442	330,826
投資その他の資産		
投資有価証券	355,752	460,368
長期貸付金	250,400	233,600
繰延税金資産	268,797	224,877
敷金及び保証金	1,247,317	1,264,507
その他	314,668	324,076
貸倒引当金	△280,745	△289,499
投資その他の資産合計	2,156,190	2,217,931
固定資産合計	7,895,640	8,656,842
資産合計	20,906,332	20,100,979

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	482,884	324,512
短期借入金	3,620,000	3,883,982
1年内返済予定の長期借入金	577,441	595,457
リース債務	96,622	93,846
未払金及び未払費用	843,337	771,296
未払法人税等	389,624	246,163
契約負債	1,653,104	1,692,486
その他	785,769	364,301
流動負債合計	8,448,783	7,972,045
固定負債		
長期借入金	1,054,362	1,491,960
リース債務	185,927	174,674
退職給付に係る負債	236,458	244,368
資産除去債務	650,904	655,100
その他	681,644	743,247
固定負債合計	2,809,296	3,309,351
負債合計	11,258,079	11,281,397
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,617,252	2,617,252
資本剰余金	2,474,276	2,474,276
利益剰余金	5,263,667	4,564,895
自己株式	△499,283	△500,247
株主資本合計	9,855,913	9,156,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,393	24,442
為替換算調整勘定	△384,597	△509,866
その他の包括利益累計額合計	△357,203	△485,424
非支配株主持分	149,542	148,828
純資産合計	9,648,252	8,819,582
負債純資産合計	20,906,332	20,100,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,014,598	5,382,327
売上原価	1,446,631	2,295,159
売上総利益	2,567,967	3,087,168
販売費及び一般管理費	2,313,583	2,480,889
営業利益	254,383	606,278
営業外収益		
受取利息	2,769	2,543
為替差益	41,378	193,300
その他	5,437	7,070
営業外収益合計	49,585	202,914
営業外費用		
支払利息	14,843	14,630
貸倒引当金繰入額	4,423	1,940
その他	41	28
営業外費用合計	19,309	16,598
経常利益	284,660	792,593
特別損失		
固定資産除却損	705	—
特別損失合計	705	—
税金等調整前四半期純利益	283,955	792,593
法人税、住民税及び事業税	175,037	251,470
法人税等調整額	57,057	44,861
法人税等合計	232,094	296,332
四半期純利益	51,860	496,261
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△713
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,860	496,975

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	51,860	496,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△2,951
為替換算調整勘定	△37,905	△125,269
その他の包括利益合計	△37,898	△128,220
四半期包括利益	13,961	368,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,961	368,754
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△713

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー・アート・オークション事業	ヘルス&ビューティー事業	その他事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,359,129	600,089	45,025	4,004,243	—	4,004,243
その他の収益(注)3	10,354	—	—	10,354	—	10,354
外部顧客への売上高	3,369,483	600,089	45,025	4,014,598	—	4,014,598
セグメント間の内部売上高又は振替高	421	9,463	—	9,884	△9,884	—
計	3,369,904	609,553	45,025	4,024,483	△9,884	4,014,598
セグメント利益又は損失(△)	581,070	△239,724	△9,697	331,648	△77,264	254,383

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用△77,264千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるリース取引等が含まれておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー・アート・オークション事業	ヘルス&ビューティー事業	その他事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,759,573	560,915	42,225	5,362,714	—	5,362,714
その他の収益 (注) 3	9,380	1,030	9,202	19,613	—	19,613
外部顧客への売上高	4,768,954	561,946	51,427	5,382,327	—	5,382,327
セグメント間の内部売上高又は振替高	291	8,482	—	8,773	△8,773	—
計	4,769,246	570,428	51,427	5,391,101	△8,773	5,382,327
セグメント利益又は損失 (△)	812,662	△99,443	△19,057	694,161	△87,883	606,278

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用△87,883千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるリース取引等が含まれておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、従来、報告セグメントとして記載しておりました「アートオークション・フィンテック事業」及び、「スポーツ事業」について、重要性が減少したため、「その他事業」に含めて記載しております。さらに、前連結会計年度より、新規事業の本格的な開始により、「ジュエリー・アート事業」の報告セグメントの名称を「ジュエリー・アート・オークション事業」に変更し、従来「その他事業」に含まれていたオークション事業の報告セグメント区分を「ジュエリー・アート・オークション事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称及び区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他事業」において、当第1四半期連結会計期間より有限会社軽井沢エレガンスカンパニーの株式を取得し、同社を連結子会社にいたしました。当該事象によるのれんの増加額は、129,315千円であります。なお、のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において、取得原価の配分が終了していないため、暫定的に算定した金額であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。